

第1回 高校生SDGs選手権大会 ポスター発表 説明資料

学校名	福岡県立中間高等学校
チーム名 (メンバー名)	A チーム 石橋 勇輝 岩田 彩花 小田 遥香 熊原 里桜 財前 鈴夏 齋藤 美紘 田中 菜々美 田中 日菜 花田 颯洋 宮本 花 本村 麻香
作品タイトル	男女差別をなくし、男性も女性も能力を発揮できる社会に
関係する SDGs のゴール	5 ジェンダー平等を実現しよう
説明文	<p>ジェンダーとは社会的文化的に形成された男女の違いのことを表します。</p> <p>今回私たちは、「女性の社会進出」と「子育て」面に焦点を当てて、調べ学習を行いました。</p> <p>日本は先進国と言われていますが、社会進出における男女格差が142ヶ国中114位、国会における女性議員の割合は193国中158位と世界の中でも女性の地位が著しく低くなっています。</p> <p>また世界の国の中には、古くからの風習で10代の若さで本人の同意なく女兒が結婚・妊娠させられるうえ、不衛生な環境での出産が原因で命を落としているケースがあります。</p> <p>このジェンダー不平等の解消のため、ドイツでは育児休業制度を子どもが3歳になるまで取得でき、フィンランドでは80%の父親が育児休暇を取得します。このように欧米諸国では妊娠・出産で女性が離職するM字カーブが解消されつつあります。</p>
課題、 今後の展開など	<p>日本では、男性が育児休暇を取得すると「仕事に専念していない」と見られることが心配のようです。2018年に育児休暇取得率は6.16%と過去最高でしたが、世界と比較するとまだ十分とは言えません。私たち高校生こそ「どのようにすればジェンダー差別が改善されるのか」をクラスで話し合い、社会に出た時に男性に育児休暇取得に対して理解を深めていきたいです。</p>
参考文献等	ユニセフ2019

(説明文は1ページ以内)